

宇治交配

夏まくら (MWX-054)

ユニークな外観！果肉のしまり・シャリ感に富むスイカ

特 性

- ① 特徴的な縦長楕円形、果実重6~8kgの大玉スイカ。外皮の緑色が濃く、縞が太い見栄えのする外観です。
- ② 切れ込みの浅い大葉タイプで草勢は中位~ややおとなしめです。低温寡照下でも着果性が良く、作りやすい。空洞果の発生も極めて少ないです。
- ③ 糖度は13度内外で高く安定し、緻密な肉質、適度なシャリ感でとにかく食味が良いです。肉色は鮮桃紅、皮際での着色が鮮明でカット販売にも向きます。
- ④ 良くシマった肉質で、盛夏期でも果肉が劣化しにくいです。早いハウスからの栽培も可能ですが、トンネル以降の作型で最も特性を発揮します。
- ⑤ 熟期の目安は、5月下旬~6月上旬収穫のハウスで授粉後48~50日、6月中旬~下旬収穫の大型トンネルで46~48日、7月収穫で43~45日です。



栽培のポイント!

作型

花粉の発生がよく、着果性も安定しているため、早い作型から栽培可能ですが、トンネル以降の作型(6月中旬から7月上旬収穫)に最も適します。果梗付近が肥大不足になる「肩こけ果」が低温寡照下で発生しやすいです。

下記標準栽培表を参考に農地の気候に合わせて栽培してください。

	12	1	2	3	4	5	6	7	8
ハウス半促成	●	○	×						
大型トンネル		●	○	×					
中型トンネル			●	○	×				
露地				●	○	×			

● 播種 ○ 播種適期 育苗 × 定植 — 生育 □ 収穫

栽培様式

- うね幅270cm 株間80cm 子づる4本仕立て2果収穫 (約460株/10a)
- うね幅270cm 株間60cm 子づる3本仕立て1果収穫 (約460株/10a)

トンネル栽培では子づるの揃いが良く、多づる栽培での果実の勝ち負け(大小)ができてくにくいので、子づる4本仕立て2果収穫が最も適します。ただし、5月収穫など極端に早い作型では、3本仕立て1果収穫をお奨めします。

台木の選定

宇治交配「台力」をお奨めします。強勢台木で生育後半のつる持ちが良いので盛夏期の栽培に適性があります。他の台木との草勢比較は、台力>かちどき2号>ドンKの順で、かちどき2号よりやや強めです。

栽培の要点

- ① 低節位で着果した果実は、丸型になりやすいため、第20節前後の3~4番花を目標に着果させます。交配時の草勢が弱い場合も、縦長になりにくいので、草勢の回復を待ってから着果させます。
- ② 着果後はやや高めの温度管理と、早めの追肥・灌水で初期肥大を促し、縦伸びを図ります。
- ③ 熟期は栽培地の天候条件や作型により前後しますので、必ず着果棒などで交配日を標識して、出荷前に試し切りを行い判定してください。